

体験活動参加型+在宅取組型(幼稚園・保育園)

学 校 名 等	本巣市立真桑幼稚園
実 施 日 時	冬休み開始から1月14日まで
会 場	各家庭
参 加 人 数	全園児と保護者
学習課題(分野)	親子でふれあい遊び ~親子で楽しくスキンシップ&体づくり
運営者の願い	親子でのふれあい遊びをととしてスキンシップを深め、病気に負けない丈夫な体づくりに取り組んでもらう。親子でのふれあいを大切にするものなので、「一日で全ての項目をやろう」「毎日必ずやらなければならない」ということではなく、時間にあるときにゆったりと楽しみながら行ってほしい。そのため、期間にゆとりをもたせ、カードの最終提出日は1月15日とした。
学 習 の 内 容	
親子でのふれあい遊びを、カードを使って各家庭で実施	



案内プリントには、取組の目的と、記録カードの記入例を示し、保護者の理解を深めるとともに、当取組への協力が得られやすいように努めている。

< 案内プリント >

・コロナ禍以後、継続して行われている取組であるが取組のねらいを明記した。

< 遊び方の用紙 >

・未満児用、年少用、年中用、年長用の年齢別に、4種類のふれあい遊び(各4種目)プリントを作成。それぞれの遊びについての「遊び方」「ポイント」「動き・姿勢がわかる図」「アレンジ」を示した。

・前年度のプリントの遊びに挑戦する家庭。夏のお楽しみ会で実施したふれあい遊びを行う家族もあった。ふれあい遊びの取組が園児・保護者にとって、負担のない有意義な活動として位置づいている。

< 取り組みを記入するカード >

・4種類のふれあい遊びの実施日をそれぞれ記入できるようにした。

・お家の方から子どもへのメッセージを記入する欄を設け、子どものがんばりを認める言葉が残せるようにした。

・「ごほうび」の欄には、子どもが喜びそうなシールを貼っている保護者もあった。

< アンケート報告 >

・お家の方からのメッセージや感想をまとめ、プリントを作成し、長子に配布し、保護者の様子や思いを交流した。

< アンケートより >

・ルールを親子一緒にプリントを見ながら確認し、楽しく遊ぶことができました。

「もっとできるよ!」と、家の中にあるものを使って難易度を高めるなど、子どもなりに考え、工夫して楽しむことができました。

・「あと〇回やる!」「今度は〇回できるようになりたい」と目標をもって取り組みました。

キャッチボール

～遊び方～

- ① 5枚重ねた新聞紙を丸めて、テープでとめてボールを作ります。
- ② ボールを立てて、倒れる前にキャッチします。キャッチするまでの間に手を何回叩けるか、チャレンジしてみましょう。
- ③ キャッチするまでの間に、体をぐるぐると一回転してみましょう。

★アレンジ★

- ① 2人がそれぞれボールを持ち、向かい合って立ちます。
- ② スタートの合図で、自分のボールから手を離し、相手のボールが倒れる前にキャッチします。キャッチできなかった場合は、もう一度チャレンジします。

ふれあいあそびをしよう

	12/27	12/30	1/2	1/4	1/5	1/6	1/7
さかさま こうもり							
だっち あんど だっち							
つなひき							
てばなし コアラ							

おうちのかたから
げんきにたのしくあそべたね。
これから遊び方の用紙と揃って、たくさん遊びましょう。

ごほうび



各家庭での微笑ましい様子や頑張りを伝え、当取組と良さを確認するとともに、各家庭での継続的な活動や、次の取組への意欲となるよう工夫している。